

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	かるがも保育園
------	---------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

平成30年4月14日・21日

③事業者情報

名 称： かるがも保育園	種 別： 保育所
代表者氏名： 代表取締役 首藤美紀	定員（利用人数） 75名
所在地： 〒870-0253 大分市汐見1丁目194-1	
TEL： 097-592-8815	

④総評

◇評価の高い点

○【経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。】

会社では、取締役員会議や行政書士はじめ専門家が、経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析を行い、具体的な課題や問題点を明らかにしている。経営状況や改善すべき課題については、園長、主任保育士を中心に職員に周知している。

○【保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。】

保育の質に関する課題を把握し、改善のための特徴的、具体的な取組としては、SHEL分析を園で組織的に実施するなど指導力を発揮している。

○【子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。】

会社の倫理綱領、理念や基本方針を定め、保育指針・会社作成保育マニュアルを標準的な実施方法とし、主任をリーダーとして全体会議で、子どもの尊重や基本的人権への配慮について、毎年4月職員へ共通の理解をもつための取組が行われている。○ソフト面でもハード面でも「あたたかみのある第二の家庭」を目指し、適切な温度管理に努め、年齢毎に部屋の壁のクロスの色を変えて心地よく過ごせるよう工夫したり、トイレの数を増やすなど子どもが利用しやすい設備を整えている。特に感染予防のため、外の手洗い場以外は自動水洗にしたり、設備、用具もマニュアルに沿って衛生管理に努めるなど力を入れている。

食育に力を入れており、食に関する豊かな経験ができるよう保育課程に位置付け、取組を行っている。子どもが食についての関心を深めるため野菜の収穫体験をしたり、調理室をガラス張りにして調理の様子が見えるよう工夫を行っている。人気のメニューレシピ等を給食だよりに掲載したり、園内のボードで植え付けた野菜苗を紹介するなど、生活や食育に関する取組について家庭と連携している。

○保育参観や個人面談を通して保護者の理解を得る機会を設けている。日頃の保育内容をブログに掲載したり、子どもたちの成長や年齢に合わせた子育ての参考カードを配布して子どもの発達の変化を知ることによって保護者の不安の軽減に役立っている。

◇改善を求められる点

○【評価結果にもとづき保育所として取り組むべく課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。】

開園から数年の保育園であり、評価結果にもとづき保育所として取り組むべく課題については、中長期計画や単年度計画への反映を望む。

○【職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。】

組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されることを期待する。

○【標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。】

保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する方法については、保育所として方法や仕組みを定め、これのもとに実施されることを望む。

○食物性アレルギー以外のアレルギー疾患についてもマニュアル作成し、体制を整えることが望まれる。

○現在進行中であるカルガモルームの展開が期待される。

○現在の保育実践の振り返りを、職員のキャリアパスや保育内容の改善及び保育所全体の自己評価につなげるさらなる取組を期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、開園後初めて福祉サービス第三者評価を受審させていただきました。

以前より当保育園では、福祉サービスの向上と、職員の待遇改善と能力向上を重視した保育園運営をしてまいりました。第三者評価を通して、より良い保育サービスを提供していくには、組織のマネジメントと事業経営計画の策定と見直しを定期的に行うことの重要性を改めて認識いたしました。

社会の状況や働き方が変わっていく中で、お子様を預けていただく保護者様や保育園で働く保育士・職員の生活スタイル変わっています。そういった状況で新しく入った保育士や職員が安心して業務に取り組めるよう、また保護者様が安心して子どもを預けていただけるよう、保育園の理念・基本方針を軸に、様々な状況に応じたマニュアルと文書の作成が大切だと感じました。まずは今回改善すべき課題として挙げられた「情報の共有化と文書化」「中長期的な目標設定」などを職員一同で取

り組んでいきたいと考えています。

一方で、当保育園の「子どもの個性を伸ばす保育方針」や「食育教育」、「環境整備の充実」は、一定の評価をしていただきました。それも職員一同、全力で保育に取り組んできた結果です。

今年度は、①子どもひとりひとりに向き合う保育の充実②職員の能力向上とキャリア形成計画策定③職員の業務負担の軽減と分担による保育の質向上④さらなる地域連携の強化を行い、地域に必要とされる保育園としての責任を果たしていきます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）